

関 市 議 会

令和6年第1回定例会

(令和6年2月29日・3月4日・5日・6日)

代 表 質 問 順 序 表

| 順序 | 議席 | 氏 名 | 会 派 名 | |
|----|----|-------|--------|--------|
| 1 | 17 | 浅野 典之 | 新政クラブ | 29日午前～ |
| 2 | 14 | 足立 将裕 | 市議会公明党 | 29日午後～ |
| 3 | 7 | 田中 巧 | 清流クラブ | 29日 |

一 般 質 問 順 序 表

| | | | | |
|----|----|--------|------------|----------|
| 4 | 8 | 池村 真一郎 | 新政クラブ | 29日 |
| 5 | 4 | 岩出 和也 | 新政クラブ | 4日10:00～ |
| 6 | 6 | 長瀬 敦久 | 新政クラブ | 4日 |
| 7 | 9 | 林 裕之 | 新政クラブ | 4日午後～ |
| 8 | 10 | 武藤 記子 | 新政クラブ | 4日 |
| 9 | 22 | 石原 教雅 | | 4日 |
| 10 | 11 | 長尾 一郎 | 新政クラブ | 5日10:00～ |
| 11 | 1 | 川合 治義 | | 5日 |
| 12 | 21 | 猿渡 直樹 | 日本共産党関市議員団 | 5日午後～ |
| 13 | 2 | 安達 克也 | 清流クラブ | 5日 |
| 14 | 3 | 村井 芙美加 | 新政クラブ | 5日 |
| 15 | 5 | 北村 隆幸 | 新政クラブ | 6日10:00～ |
| 16 | 20 | 小森 敬直 | 日本共産党関市議員団 | 6日 |
| 17 | 16 | 市川 隆也 | 市議会公明党 | 6日午後～ |
| 18 | 13 | 栗山 守 | 若草クラブ | 6日 |
| 19 | 15 | 幅 永典 | 市議会公明党 | 6日 |

代 表 質 問

新 政 ク ラ ブ

議席 17 番 浅 野 典 之

1 能登半島地震を受けて

- (1) 市の支援状況は
- (2) 相互応援協定の状況と拡充は
- (3) 教訓をどう生かしていくのか
 - ア 市内木造住宅の耐震化率と耐震強化支援は
 - イ 避難所の環境整備と新たな備蓄の必要性は
 - ウ 指定避難所の空調設備の設置計画は
 - エ 福祉避難所の機能充実強化は
 - オ 長期の断水・下水道機能停止対策は
 - カ 孤立集落の想定と対策は
 - キ 今後推進していくさらなる防災対策は

2 令和 6 年度施政方針について

- (1) 新年度予算に思いを込めた山下カラーとは
- (2) 重点的・戦略的に推進する 3 つの施策とは
- (3) 物価高騰対策「暮らしにエール・3 本の矢」の具体的事業は

代 表 質 問

市 議 会 公 明 党

議席14番 足立将裕

1 新年度予算について

(1) 重点的・戦略的に推進する施策について

ア 基幹業務システム統一・標準化の効果は

イ 防災対策のさらなる推進施策は

(2) 物価高騰対策について

ア 学校給食費の支援は、今後の給食費の段階的無償化につながっていくのか

イ 「暮らしにエール商品券」を給付型にした理由と給付方法は

(3) 「行いたいことは、90%反映できた」旨の新聞記事があったが、残りの10%は何か。また、できなかった理由は

2 認知症の人が安心して暮らせるまちづくりについて

(1) 認知症に対する正しい理解を促す啓発は

(2) 社会参加できる機会の確保は

(3) 医療や福祉サービスの提供体制の整備は

3 水道施設の耐震化について

(1) 浄水施設の耐震化率、基幹管路の耐震適合率は

(2) 水道施設の減災・防災対策は

(3) 上水道の耐震管の布設や施設改良及び老朽管対策の強化は

(4) 下水道の老朽化した設備の更新や不明水対策は

(5) 汚水処理事業の広域化・共同化計画とは

代 表 質 問

清 流 ク ラ ブ

議席7番 田 中 巧

1 自動運転バスについて

- (1) これまでの取組の経緯は
- (2) 実証実験の成果は
- (3) 岐阜市での導入の状況は
- (4) 自動運転バス導入の方針は

2 本町BASEについて

- (1) 今後の運営方針は
- (2) 所管課を再度検討すべきでは
- (3) 民間のノウハウを生かすことはできないか
- (4) 新たなチャレンジショップを整備する予定は
- (5) 契約事務手続等、今回の事案の検証は

3 稲河交差点改良について

- (1) 交差点改良事業が進まない理由は
- (2) 公安委員会との協議が速やかに行われなかった理由は
- (3) 地元や地権者などへの説明は
- (4) 事業の引継ぎはなされていないのか

一 般 質 問

議席8番 池 村 真一郎

- 1 市道等の自治会要望箇所の対策について
 - (1) 舗装修繕、側溝修繕などの年間要望件数は
 - (2) 要望の多い舗装修繕、側溝修繕対策に要する費用は

- 2 緊急輸送道路について
 - (1) 緊急輸送道路の位置付けは
 - (2) 市内の指定状況は
 - (3) 本市における課題は
 - (4) 見直しを行う予定は

- 3 1型糖尿病の児童生徒への支援について
 - (1) 1型糖尿病を患う児童生徒数は
 - (2) 教育委員会の見解と認識は
 - (3) 学校での受入れ対応は

一 般 質 問

議席4番 岩出和也

1 関市ICT推進アクションプランについて

- (1) 行政手続きのオンライン化について市長の方針は
- (2) Ver. 2 初年度を終えるにあたって、計画の進捗状況と今後の課題は
- (3) 保健センターにおける手続・申請のオンライン化の現状と今後の推進予定は
- (4) 子ども家庭課における手続・申請のオンライン化の現状と今後の推進予定は
- (5) 留守家庭児童教室における手続・申請のオンライン化の現状と今後の推進予定は

2 SNS広告の導入について

- (1) 市外に向けての発信方法は
- (2) 市内に向けての発信方法は

一 般 質 問

議席6番 長瀬 敦久

- 1 介護保険サービスの充実について
 - (1) 訪問介護・訪問看護の地域差は
 - (2) 西ウイング・東ウイングでのヘルパー確保は
 - (3) ヘルパーの人材確保に向けての支援は
 - (4) 市内で介護人材を育成している大学や学生との連携は
 - (5) 介護職員の活動を支援する施策は
 - (6) 自立支援介護の実施は

- 2 認知症予防について
 - (1) 「脳活教室」の実施状況は
 - (2) 認知症予防を広めていく考えは
 - (3) 認知症サポーターの活動状況は

- 3 空き家の活用について
 - (1) 移住制度の活用状況やその傾向についての分析は
 - (2) 空き家を見守り、活用しようとする地域との連携は
 - (3) 空家等管理活用支援法人設置に向けての現状と課題は
 - (4) 様々な事業者の連携による一貫した空き家活用の推進は

一 般 質 問

議席9番 林 裕 之

- 1 人口減少対策としての子育て支援策は
 - (1) 待機児童の人数は
 - (2) 未満児保育の希望に添えなかった人数は
 - (3) 未満児保育の無償化は
 - (4) 保育士配置基準の改定に伴う対応は
 - (5) 公立保育園の保育士の定員充足数は
 - (6) 保育士の処遇改善が進まない理由と改善対策は

- 2 道の駅の行政財産目的外使用料について
 - (1) 道の駅むげ川、道の駅ラステンほらどの経営状況は
 - (2) 道の駅平成の調査について
 - (3) 今後、道の駅の行政財産目的外使用料の算定基準は統一するのか

- 3 自治会の負担軽減策は
 - (1) 自治会の組織率と加入率の推移は
 - (2) 未加入者の主な理由の調査は
 - (3) 加入促進の必要性は
 - (4) 自治会の課題への対応は

一 般 質 問

議席10番 武藤 記子

1 個人情報流出防止策について

- (1) 庁内における個人情報管理の共通認識は
- (2) 市民に対して個人情報を求める場合の取扱いは
- (3) マイナンバーカード等個人情報の郵送での手続きについて

2 関市ビジネスサポートセンターについて

- (1) 新センター長を公募にしなかった理由は
- (2) 本町BASEチャレンジ応援パックの成果は
- (3) 起業家と一般社団法人関市ビジネス支援機構との連携は
- (4) 市内外の相談支援体制は
- (5) 8年間の成果と今後の方針は

一 般 質 問

議席 22番 石 原 教 雅

- 1 福祉避難所及び個別避難計画について
 - (1) 保育園を福祉避難所から削除した理由は
 - (2) 種別民間福祉事業所のネットワーク構築について
 - (3) 民間福祉事業所との災害協定を

- 2 防犯カメラ設置事業補助金交付要綱の運用について
 - (1) 公的施設も対象とするのか

- 3 学校給食費無償化事業を進めない理由について
 - (1) 学校給食費無償化事業を進めない理由を改めて伺う

一 般 質 問

議席 1 1 番 長 尾 一 郎

- 1 津保川浸水対策事業について
 - (1) 改修の概要は
 - (2) 改修後における出水時の効果は
 - (3) 今後の維持管理は

- 2 観光振興策について
 - (1) コロナ禍前後の観光客数の推移は
 - (2) 観光スポットなどの周知の方法は
 - (3) 市内への観光ツアーは
 - (4) 新たな観光誘致策は

- 3 新型コロナウイルス対策について
 - (1) 5類に移行してからの感染状況は
 - (2) 現在のワクチン接種状況は
 - (3) 今後のワクチン接種は
 - (4) 学校における対策の変化は

- 4 公共交通における自動運転導入について
 - (1) 自動運転導入の目的は
 - (2) 取組状況は
 - (3) 自動運転導入による運転手不足解消の可能性は

一 般 質 問

議席1番 川 合 治 義

- 1 富野中学校近くの橋の欄干破損について
 - (1) 破損の状況は
 - (2) 欄干の補修が遅い事情は
 - (3) 補修の予定は

- 2 市内小・中学校の防犯カメラについて
 - (1) カメラの設置の意義と全26校の合計設置数は
 - (2) 学校付近で事件等が発生した場合の警察への協力は

- 3 公立保育園における防犯カメラの設置について
 - (1) 設置状況は
 - (2) 設置する考えは

- 4 ニホンジカの食害の現状と個体数管理について
 - (1) 農業と林業の被害状況は
 - (2) 駆除および狩猟の実績は
 - (3) 市の捕獲計画と協力を求める猟友会の現状は
 - (4) ジビエ利活用の取組に対する支援は

- 5 林業従事者の確保について
 - (1) 市内の林業事業体の状況と従事者数は
 - (2) 来年度予算案の林業就業移住・新規林業就業者支援の狙いは
 - (3) 林業従事者養成に特化した地域おこし協力隊員公募の考えは

- 6 関市介護給付費準備基金の活用について
 - (1) 介護給付費準備基金の目的及び保有額は
 - (2) 岐阜県からの財政安定化基金の借入実績は
 - (3) せき高齢者プラン21の第6、7期末の積立残高及び第8期の積立残高の見込みは
 - (4) 活用方法は

一 般 質 問

議席 2 1 番 猿 渡 直 樹

- 1 水道料金値上げの中止を
 - (1) 料金値上げで上下水道の予算はどう変わったか
 - (2) 管路老朽化の現状評価と改善見込みは
 - (3) 一般会計からの基準外繰入金の状況は
 - (4) 繰入金減額方針は撤回を
 - (5) 料金値上げによる負担増対策は単発の商品券給付で十分か

- 2 地域内商品券事業に偏った施策の見直しを
 - (1) 商品券の地域経済引上げ効果を数値で示すとどうなるか
 - (2) 電子商品券事業の意義と効果は
 - (3) 商品券より現金給付や現物給付を

- 3 学校規模適正化について
 - (1) 審議会答申の早期公表を
 - (2) 小規模校のメリットに着目した検討は
 - (3) 「山県方式」も選択肢に入れてはどうか

一 般 質 問

議席2番 安達克也

- 1 部活動の地域移行について
 - (1) これまでの協議の状況は
 - (2) 進捗と移行に向けての今後のスケジュールは
 - (3) 中学生や保護者への周知は

- 2 自治体DXの推進について
 - (1) 本市の進捗状況は
 - (2) 来年度、特に力を入れて進めたいDXの取組は
 - (3) 窓口業務の改革の方針と課題は

- 3 能登半島地震に対する被災地支援について
 - (1) これまでの支援の内容は
 - (2) 市営住宅の提供等の支援の拡充は図れないか
 - (3) 今後のさらなる支援策の展開の考えは

- 4 災害対策について
 - (1) 能登半島地震をうけて市の災害対策の考え方は
 - (2) 新たな災害対策への取組はあるか
 - (3) 新たに備蓄する物資などはあるか

一 般 質 問

議席3番 村井 芙美加

- 1 不妊・不育に悩む女性への支援について
 - (1) 不妊治療費助成事業の評価は
 - (2) 不妊・不育に関する相談体制は
 - (3) 妊娠を応援するための新たな支援について
 - ア 先進医療費における助成は
 - イ 不育症治療費における助成は
 - ウ 不妊治療と仕事を両立するための支援は

- 2 中学校部活動の今後のあり方について
 - (1) 児童生徒数の減少による部活動の運営への影響と課題は
 - (2) 顧問として活動する教員の勤務状況は
 - (3) 部活動の地域移行の進捗は
 - (4) 吹奏楽部の持続可能な運営について
 - ア 市内中学校の吹奏楽部の現状は
 - イ 学校備品の楽器の管理と更新状況は
 - ウ 合同チームの編成と地域移行の検討は

一 般 質 問

議席5番 北村隆幸

1 地域包括ケアシステムについて

(1) 生活支援体制整備事業における協議体について

ア 協議体の設置状況は

イ 法整備された平成27年からすでに8年が経過しているが、第2層ができない経緯と原因は

ウ 生活支援コーディネーターの設置状況は

エ 第2層はどのような形態が望ましいと考えているのか

オ モデル地域を定め、第2層生活支援コーディネーターの設置を先行しては

(2) 介護予防・日常生活支援総合事業について

ア 現状と課題は

イ 関市地域づくり支援交付金の返還率は

ウ 地域委員会の自主事業及び福祉部会の取組は

エ 介護予防・日常生活支援総合事業における上限額超過の減少のためにも、地域が担い手となるサービスBの設置が必要と考えるがどうか

2 本市における大学卒業者等の働き場について

(1) 大学卒業者の働き場について

ア 関高校の生徒の調査によると、地元で働くことを選択肢に入れる高校生が41%となった一方で、市内で大卒者を受け入れられる働き場が不足していると考え、それについての認識は

イ 市内企業の大卒者の求人状況及び市内大卒者求人の平均初任給は

ウ 市として現在取り組んでいる大卒者向けの事業とその成果と課題は

エ ふるさと情報お届け便の成果は

オ 市近郊の大学に対して、インターンシップ事業の充実は

(2) みんなの就職サポートセンターについて

ア 人員体制とその職員の専門性は

イ 「みんな」とは誰を想定しているか

ウ 福祉等も含めた本市における就労支援の取組の全体像は

エ 重層的支援体制整備事業における就労支援の現状と課題は

オ 健康福祉部の就労支援と産業経済部の就職支援との連携実態は

カ 福祉としての就労支援、また、大卒者向けの就職支援など、みんなの就職サポートセンターの機能強化を図るべきだが、専門職員の増強や、無料職業紹介の機能を新たに加えてはどうか

一 般 質 問

議席20番 小 森 敬 直

- 1 介護保険料の改定について
 - (1) 第9期介護保険事業計画の概要は
 - (2) 介護保険料の推移をどうみるのか
 - (3) 所得の高い層に負担増を求めるのは適切か
 - (4) 介護保険利用料の軽減策は

- 2 国民健康保険について
 - (1) 国保加入者の現状をどうみるか
 - (2) 高い国保税の負担増を抑える取組は
 - (3) 資格証明書の発行をゼロにできないか
 - (4) 差押え数が多いのはなぜか
 - (5) マイナ保険証の中止を求めるべきでは

- 3 P F A S 汚染問題について
 - (1) P F A S の暫定基準は適正か
 - (2) 市内の汚染状況をどう考えるか
 - (3) 汚染の原因を調査すべきでは
 - (4) 市民の要望に応じた健康調査の実施を

一 般 質 問

議席16番 市川隆也

1 防災・減災対策について

- (1) 災害時の孤立集落への対策は
 - ア 災害時に想定される孤立地域の調査結果は
 - イ 中山間地の災害時の課題と対策は
- (2) 学校施設の老朽化対策と防災機能強化は
 - ア 外壁落下事故を受けて、調査・点検の結果は
 - イ 学校施設の老朽化対策の進捗状況は
 - ウ 体育館の空調整備事業の計画は
 - エ 自家発電機等のバックアップ電源の整備は
- (3) 災害用トイレの整備・拡充は
 - ア マンホールトイレ整備の進捗状況は
 - イ 簡易トイレ、携帯トイレ備蓄の進捗状況は
 - ウ トイレトレーラーの導入と活用は
- (4) 通電火災への対策は
 - ア 感震ブレーカーのメリットは
 - イ 感震ブレーカー普及へ設置補助は
- (5) 耐震シェルター設置補助事業の必要性は
- (6) 学校の防災教育や出前講座の推進は

2 交通安全対策について

- (1) 交通事故の対策は
 - ア 事故件数と死傷者数の推移は
 - イ 死傷者数増加の要因は
 - ウ 事故防止対策の進捗状況と課題は
- (2) 市道の安全対策について
 - ア カーブミラー修繕対策の進捗状況は
 - イ 事故現場の安全対策を早急に
 - ウ 道路危険箇所投稿フォームの活用状況と課題は
 - エ 自転車用ヘルメット購入補助の活用状況と課題は
 - オ 仮称「交通安全対策室」の設置は

一 般 質 問

議席13番 栗山 守

- 1 地震と土砂災害から市民の命を守る取組について
 - (1) 昭和56年以前に建てられた住宅数は
 - (2) そのうち耐震化が終了している住宅数は
 - (3) 現在までの耐震化補助事業の流れは
 - (4) 過去5年間の実績は
 - (5) 土砂災害警戒区域内の住宅数は
 - (6) 新たに市民の命を守るための施策は

- 2 小中学校教育の課題について
 - (1) 学校教育夢プランについて
 - ア 令和5年度の取組の評価は
 - イ 今年度の不登校児童生徒数は
 - ウ L教室の評価は
 - エ 中学生海外研修追跡調査の結果は
 - オ 令和6年度重点的に取り組む内容は
 - (2) 学校規模適正化審議会について
 - ア 今後のスケジュールは
 - イ アンケート結果の活用は

一 般 質 問

議席 15 番 幅 永 典

1 災害ケースマネジメントの取組について

- (1) 市の被災者支援制度の概要は
- (2) 取組に対する見解と現状は
- (3) 政府が作成した災害ケースマネジメント実施の手引に対する市の考えは
- (4) 災害ケースマネジメント研修の実施についての考えは
- (5) この取組をどのように進めていくのか

2 周産期グリーフケアについて

- (1) 赤ちゃんを亡くした家族へのケアについて
 - ア 流産や死産などを経験された方のケアに関するニーズをどのように把握しているか
 - イ 利用できる制度や当事者への情報提供の体制は
 - ウ 関連する窓口職員や保健師等の専門職員の研修体制は
 - エ 支援の周知は

3 合併20周年・市制施行75周年を控えて

- (1) 記念式典事業について
 - ア 基本方針の考えは
 - イ 次第の計画案は
- (2) 記念事業計画案の検討状況は